

## [021] 言語文化論究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/5624>

---

出版情報：言語文化論究. 21, 2006-03-16. 九州大学大学院言語文化研究院  
バージョン：published  
権利関係：



## 個人研究業績一覧

(2004年11月～2005年10月)

### 言語科学部門 言語教育学講座

#### 井上 奈良彦

##### 【著書】

- －「大学英語教育改革の内情」『国際化時代の大学英語教育－現状の足枷と新たな可能性』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XVI), pp.87-115. 2005年3月。(津田晶子、中野美香との共著)

##### 【その他】

- －「議論文化育む『議論学』」『朝日新聞』西日本版夕刊, p.10. 2005年7月8日。(新聞記事)

#### 松村 瑞子

##### 【論文】

- －「日本語のジェンダー表現と話法」『言語と文化のジェンダー』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XV), pp. 20-29. 2005年3月.
- －「少女マンガの言葉遣い－重層的内面表現の手段としての表現形式」『漫画研究への扉』(梓書房), pp. 111-32. 2005年9月.

##### 【その他】

- －「従属節中のアスペクト」英語語法文法学会第13回大会 (於関西学院大学), 2005年10月。(口頭発表)

#### 山村 ひろみ

##### 【論文】

- －「futuro と pretérito perfecto simple /pretérito imperfectoの関係－機能的対比の観点から－」, *HISPANICA* 48 (日本イスペインヤ学会), pp.31-47. 2004年12月.
- －「職業名詞に見る「男」と「女」の表され方－日本語とスペイン語の対比から」, 『言語と文化のジェンダー』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XV), pp.85-106. 2005年2月.
- －「インタビューにおけるpretérito perfecto simpleとpretérito imperfectoの交替－質疑応答に見られるデータを中心にして－」, 『スペイン語学研究』20 (東京スペイン語学研究会), pp.123-144. 2005年8月.

##### 【その他】

- －「文献論評 García Fernández, L. & B.Bruno Camus, *El pretérito imperfecto*, Madrid: Gredos, 2004」, 関西スペイン語学研究会, (於大阪産業大学梅田サテライト), 2004年12月。(口頭発表)
- －『クラウン西和辞典』2005年2月。(辞書・共著)

## Kasjan, Andreas

## 【その他】

- －“Wortschatzarbeit mit Hilfe von Rollenspielen im Deutschunterricht für Japaner.” 第13回国際ドイツ語教育者学会（於グラーツ大学，オーストリア）2005年8月。（口頭発表）
- －“Übersetzungen im bilingualen Spracherwerb und im Fremdsprachenunterricht.” 第31回JALT年次国際大会（於静岡グランシップ国際会議場）2005年10月。（口頭発表）

## 曹美庚

## 【その他】

- －「Mental Spaces 理論と「ㄝ」」韓国言語文化教育学会2005年国際学術大会（於西南学院大学），2005年7月。（口頭発表）

## 中村 嘉雄

## 【その他】

- －「HemingwayとHumanism」第51回九州アメリカ文学会大会（於九州大学），2005年5月。（口頭発表）

## 言語科学部門 言語情報学講座

## 田島 松二

## 【論文】

- －「18世紀英語研究の現在を概観する」『英語青年』2005年4月号，pp. 17-19. 2005年3月.
- －“The Compound Gerund in 17th-Century English”, in *Papers on Scandinavian and Germanic Language and Culture, Published in Honour of Michael Barnes on his Sixty-Fifth Birthday 28 June 2005* (Odense: University Press of Southern Denmark), pp. 249-62. [= *NOWELE: North-Western European Language Evolution*, Vol. 46/47.] 2005年6月.
- －“Allow for”の新しい意味？『英語史研究会会報』第13号，pp. 16-18. 2005年6月.

## 【その他】

- －「18世紀英語の歴史・社会言語学的研究書誌（補訂版）」*The Kyushu Review* 第9号，pp. 83-111. 2004年11月。（書誌）
- －「書誌編纂のことなど」『九州大学附属図書館報「図書館情報」』Vol. 40, No. 2, pp. 23-24. 2004年11月。（随想）
- －「動名詞はいつ、どのように発達したか」中央大学英米文学会，2004年11月。（講演）
- －*The Kyushu Review* 第9号，123 pp., 2004年10月。（学術誌・編集発行）
- －『英語史研究会会報』第12号，30pp., 2004年12月；第13号，46pp., 2005年6月。（会報・編集発行）

## 恒吉 法海

## 【その他】

- －『ジャン・パウル中短編集1』九州大学出版会 551pp. 2005年9月。（翻訳）

**江口 巧**

## 【論文】

- －「丁寧さを導く方略としての You-Suppression」『ことばの標—平井昭徳君追悼論文集』（九州大学出版会），pp. 25-37. 2005年10月.

**大津 隆広**

## 【論文】

- －「関連性理論からみた発話行為」『言語科学』（九州大学）第40号, pp. 19-33. 2005年3月.
- －「会話の含意をめぐって～グライス、レビンソンと関連性理論」『ことばの標—平井昭徳君追悼論文集』（九州大学出版会），pp.39-53. 2005年10月.

## 【その他】

- －“Semantic Extension of ‘After All’: Concession and Justification” (The 9th International Pragmatics Conference, Italy) 2005年7月. (口頭発表)
- －「コミュニケーションにおける関連性理論の妥当性についての実証的研究」(平成14～16年度科学研究費補助金(基盤研究C(2))研究成果報告書、課題番号14510529) 77pp. 2005年3月.

**鈴木 右文**

## 【論文】

- －「英語受講者が望む仮想空間での対話タスクの分析」『英語英文学論叢』（九州大学）No.55, pp. 81-93. 2005年2月.
- －「オンライン英語学習による国際コミュニケーション能力の向上策」『言語文化論究』（九州大学）No.20, pp. 55-66. 2005年2月.

## 【その他】

- －「九州大学におけるサイバー・ユニバーシティの取組み」(岡野進と共同) 情報文化学会九州支部研究発表会(於九州大学六本松地区), 2004年12月. (口頭発表)
- －「3次元仮想空間チャットシステムを使用した文字ベースの英語対話授業」九州大学e-Learningシンポジウム－ITを活用した実践的教育への取組み－(於九州大学医学部百年講堂), 2005年3月. (ポスター発表)
- －「コンピュータによる英語教育」日本科学者会議福岡支部研究発表会(於九州大学西新プラザ), 2005年7月. (口頭発表)
- －「田子内健介・足立公也著『右方移動と焦点化』」『英語学モノグラフシリーズ』11『英語青年』第151巻5号, pp. 51, 2005年8月. (書評)

**田中 俊也**

## 【その他】

- －『ゲルマン語動詞体系成立に関する非ブルークマン的モデルからの研究(課題番号14510624)平成14年度～平成16年度科学研究費報告書(基盤研究(C)(2))研究成果報告書』, xv + 335 pp. 2005年3月.

- “A New Historical and Comparative Approach to Old English Preterite-Present Verbs”, 250pp. A PhD Thesis, The Department of Linguistics and the English Language, Faculty of Humanities, The University of Manchester March 2005. (博士学位論文)
- 「九州大学の最新カリキュラムについて」、平成17年度国立七大学外国語教育連絡協議会合同シンポジウム (於九州大学馬出キャンパス)、シンポジウム報告、2005年10月。(口頭発表)

### 吉村 治郎

#### 【論文】

- 「屈辱と尊厳性」『ブッカー・リーダー』(開文社), pp.315-329. 2005年5月

#### 【その他】

- 「ロレンスの自然観にみる思想的意味」日本英文学会九州支部第58回大会 (於長崎大学), 2005年10月 (口頭発表)

### 文化情報学部門 メディア文化情報学講座

### 阿尾 安泰

#### 【論文】

- 「フランスの漫画事情」『漫画研究への扉』(梓書院), pp.155-74. 2005年9月.

### 津村 正樹

#### 【その他】

- 「トーマス・ブラッシュ著 『父より先に息子が死ぬ』より」『東ドイツ文学』第7号 (イルムの会—東ドイツ文学会), pp.61-78. 2005年8月。(翻訳)
- 「トーマス・アンツ編『クリスタ・ヴォルフが問題なのではない』より」『東ドイツ文学』第7号 (イルムの会—東ドイツ文学会), pp.121-139. 2005年8月。(翻訳)

### 徳見 道夫

#### 【論文】

- 「シェイクスピア作品における家父長制再考」『英語英文学論叢』(九州大学), 第55集, pp.17-31.

### 谷口 秀子

#### 【論文】

- 「アニメと「グローバル化」— 『ソニックX』の世界観 —」『言語科学』(九州大学), 第40号, pp. 35-45, 2005年2月.
- 「子どもの本とジェンダー」『言語と文化におけるジェンダー』(九州大学大学院言語文化研究院言語文化叢書XV), pp. 1-19, 2005年3月.

## 福元 圭太

## 【その他】

- －「シンポジウム：トーマス・マン『魔の山』の「内」と「外」－新たな解釈の試み－  
2005年度日本独文学会・秋季研究発表会（於同志社大学），2005年10月。（シンポジウム司会）

## 文化情報学部門 比較言語文化学講座

## 小谷 耕二

## 【論文】

- －「アレン・テイトの『父たち』と南部」『英語青年』第150巻8号，pp. 12-14. 2004年11月.

## Wolfgang MICHEL

## 【論文】

- －“Schamberger, Caspar, Chirurg, Handelsmann, Japanreisender”. Neue Deutsche Biographie, hrsg. von der Historischen Kommission bei der Bayerischen Akademie der Wissenschaften, Berlin: Duncker & Humblot, Vol. 22, pp. 556-557.
- －『中津市歴史民俗博物館 分館村上医家史料館蔵の薬箱及びランビキについて』（中津市歴史民俗博物館分館村上医家史料館資料叢書4）（中津市），2005年3月。（編集責任者、遠藤次郎・中村輝子との共著）
- －『村上玄水資料（3）』（中津市歴史民俗博物館分館村上医家史料館資料叢書）（中津市）2005年3月。（編集責任者、朝稲香子・大島明秀・吉田洋一との共著）
- －“Western Medicine and Pharmaceutics in Seventeenth Century Japan”. Proceedings of the Tenth International Conference on the History of Science in East Asia (Shanghai Jiao Tong University Press), pp. 173-184. July 2005.
- －“Far Eastern Medicine in Seventeenth and Early Eighteenth Century Germany”. 『言語文化論究』No. 20（九州大学），pp. 67-82, 2005年3月.
- －「ヨーロッパの珍品陳列室から見た市岡家の標本コレクション」『江戸時代の好奇心：信州飯田・市岡家の本草学と多彩な教養』（飯田市美術博物館編、飯田市），pp. 82-85, 2004年9月.
- －“Drop by Drop - The Introduction of Western Distillation Techniques into Seventeenth-Century Japan” 『日本医史学雑誌』Vol.50, No.4, pp. 463-492, 2004年12月（Elke Wergers-Kleinとの共著）

## 【その他】

- －「コレクションと学問の近代化－木村兼葭堂の位置づけについて」日本医史学会関西支部2005年秋季大会（於大阪市立大学），2005年11月。（口頭発表）
- －「近接と遠隔－17世紀の日本を見たドイツ人について」『日本におけるドイツ年』（於福岡西部ガスホール），2005年11月。（公開講演）
- －「江戸時代に開催された薬品会の時代的な特徴」日本薬史学会，2005年会，（於札幌市教育文化会館），2005年10月。（口頭発表、今井勇介、遠藤次郎、中村輝子との共同発表）

- －「モノの収集と製造－地方における近代化について」『江戸のモノづくり国際シンポジウムin木祖村』（於木祖村・村民センター），2005年8月。（基調講演）
- －“Western Distillation Techniques and Euro-Japanese Botanical Interactions in 17th Century Japan”. 11th International Conference on the History of Science in East Asia, 15th - 20th August 2005 (Munich).（口頭発表）
- －「日本のモノづくりを若者につなぐ」『モノづくりの東西』シンポジウム（於飯田市地場産業センター），2005年7月。（口頭発表）
- －「エンゲルベルト・ケンペルの「Simabara ki」について」洋学史研究会（於青山学院大学），2005年7月。（口頭発表）
- －「北條家（佐渡市）の薬箱の検討」日本医史学会第106回学術大会特別シンポジウム II（於北里大学），2005年6月。（口頭発表、遠藤次郎、中村輝子との共同発表）
- －「明治期の医療器械商－大阪の白井松之助について」日本医史学会第106回学術大会特別シンポジウム II（於北里大学），2005年6月。（口頭発表、中村輝子、遠藤次郎との共同発表）
- －『『朋百舎密書』の原典著者と日本の化学への影響』2005年度化学史研究発表会（於神戸大学），2005年6月。（口頭発表、芝哲夫との共同発表）
- －「明治期の医科器械製造販売業について－大阪を中心に」日本医史学会関西支部春期大会（於京大会館），2005年6月。（口頭発表）
- －「シーボルトの日本観－日本のシーボルト観」（於クロス福岡），2005年2月。（九州大学附属図書館・福岡県立図書館主催の公開講演）
- －「大坂蘭の背景」「大阪の蘭学史－その1」日本医史学会関西支部平成16年度大会（於関西市立大学），2004年12月。（口頭発表）
- －「蘭方医事が来た道－17、18世紀を中心に」日本医史学会関西支部平成16年度大会（於関西市立大学），2004年12月（特別講演）
- －「16・17世紀の日本における西洋医学」全北大学校・九州大学2004年国際学術大会（於九州大学），2004年12月。（口頭発表）
- －「異国趣味と強国戦略－17世紀半ば頃のVOC資料に見られる「珍品」について」洋学史学会平成16年度大会（於青山学院大学），2004年12月。（口頭発表）
- －「万物の魅力－信州飯田の「市岡家コレクション」とその位置づけについて」2004年度日本科学史学会生物学史分科会・総会・シンポジウム『遺された「モノ」に語る医学史・生物学史のフロンティア』（於東京大学），2004年12月。（口頭発表）
- －『『ユリアム相伝』成立時の日蘭学術交流』シンポジウム『蘭学の来た道』（於武雄市文化会館），2004年10月。（口頭発表）
- －「江戸時代輸入薬品と国産化の試み」日本薬史学会平成16年度年会（於東京大学），2004年10月。（口頭発表、大代純也、中村輝子、遠藤次郎との共同発表）
- －「医薬学者アンドレアス・クライアーによる日本の薬品研究について」日本薬史学会平成16年度年会（於東京大学），2004年10月。（口頭発表、中村輝子、遠藤次郎との共同発表）
- －「ヨーロッパの珍品陳列室から見た市岡家の標本コレクション」シンポジウム『江戸時代の好奇心－市岡家を通して－』（於飯田市美術博物館），2004年10月。（口頭発表）

- "Edo no Monozukuri" - An Interim Report. International ENJAC (European Network of Japanese Art Collections) Conference, Prague (9 Sept 2004). (口頭発表)

### 阿部 吉雄

#### 【論文】

- －「上海のセファルディ系ユダヤ人」『言語文化論究』（九州大学）No.20, pp.41-53. 2005年2月.

#### 【その他】

- －「上海のユダヤ人難民」日本現代中国学会西日本支部「現代中国講座」2004年12月例会（於九州大学），2004年12月。（口頭発表）

### 高橋 勤

#### 【論文】

- －「奴隷解放運動と『ウォールデン』－「より高い法則」をめぐって」『英語英文学論叢』第55集（九州大学），pp. 33-46. 2005年2月.

#### 【その他】

- －科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)）研究成果報告書「南北戦争前における奴隷解放運動とコンコードの文学」57pp.
- －“Ethics of Natural Disaster: Tanaka Shozo and Ashio Mine Poisoning,” The Third International Conference on Ecological Discourse, Tamkang University, Taiwan, May 27, 2005. (口頭発表、招聘)
- －「野生の詩学—詩人としてのソロー」現代英米詩学会（於福岡女子大学），2005年6月。（口頭発表）
- －“Toxic Discourse in Red: Communism and Environmental Literature in Japan.” The 6th Biennial Conference of the Association for the Study of Literature and Environment, University of Oregon, June 2005. (口頭発表)
- －「ジョン・ブラウンとコンコード」科学研究費補助金研究報告会（於青学会館），2005年7月。（口頭発表）

### 中里見 敬

#### 【その他】

- －「ミシガン大学の中国研究：その研究者養成のしくみ」『アジア研究情報Gateway』（東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター），2004年12月。（解説）

### 李 一 清

#### 【論文】

- －“Development Strategies and Unemployment Policies in Korea”, *Transforming the Developmental Welfare State in East Asia* (Palgrave Macmillan, New York and Basingstoke), pp.143-169. 2005.



- “Asia from the Korean Perspective: Korean Narratives of Asia”, *Asia in Malaysia Forum, Kertas Berkala* (Occasional Papers) (Centre for Civilisational Dialogue, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia), pp.8-13, May 2005.
- “Formulation of Confucianism in the Social Welfare System in East Asia”, *Khata, the Official Journal of the Centre for Civilisational Dialogue* (Centre for Civilisational Dialogue, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia), pp.40-66, Vol.1, No. 1, September 2005.
- “Social Dialogue in Mongolia : Time To Deliver” *Workshop Paper on Social Dialogue in Mongolia* (Ministry of Labour and Social Welfare of Mongolia, International Labour Organization, Confederation of Mongolian Trade Unions, Ulaanbaatar, Mongolia), pp.1-66, October 2005.

【その他】

- “Trapped in Uncoordinated Policies: Migrant Workers in Korea” 2005/2006 Workshop Series, 21<sup>st</sup> Century COE Programme: Research Centre on Public Affairs for Sustainable Welfare Society, Chiba University (University of Hong Kong, Hong Kong) May 2005. (口頭発表)
- “Development of Social Dialogue in Transitional Economy: The Case of Mongolia” 『未来を育てる国際協力』(於九州大学) October 2005. (講演、公開講座)
- “Reading Confucius and Asian Value” 2<sup>nd</sup> Workshop of Mugunghwa Centre for Korean Culture and Arts, Kuala Lumpur, Malaysia (Mugunghwa Centre for Korean Culture and Arts, Kuala Lumpur, Malaysia) September 2005. (講演)

秋吉 收

【論文】

- “台湾の魯迅” 頼和にみる大陸新文学の影響 『中国文学評論』 第30号, pp.1-18. 2005年5月.

【その他】

- 劉登翰著 「香港文学の文化的地位－香港文学の本土性、中国性そして世界性に関して」 『境外の文化－環太平洋圏の華人文学』 (汲古書院), pp.415-431. 2004年12月. (翻訳)
- “台湾の魯迅” 頼和にみる大陸新文学の影響 日本現代中国学会西日本支部2005年度春季大会 (於西南学院大学), 2005年4月. (口頭発表)